

令和 4 年度

事務事業評価表 (令和 3 年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		道路補修事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050302000372
						単独/補助	単独	所属課	060101
政策体系		政策体系上の位置付け							
総合計画の施策名		0503 道路網の整備							
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり							
施策名		03 道路網の整備				課長名			
手段名		02 ②市道の危険箇所の整備				グループ			
						担当者名			
						建設課			
						建設グループ			
予算科目		財務会計上の位置付け				事業期間			
会計		款	項	目	事業	単年度繰返し (年度～)			
01		08	02	02	01	一般会計			
						道路維持事業			
法令根拠		道路法				期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
手 段	道路パトロール等で発見した道路や側溝等の補修が必要な箇所・危険な場所及び区長等からの要望・苦情等の申請や連絡等があった場合、現地調査による施工方法等を検討し、職員で対応出来る箇所については速やかに補修を行う。しかし、その他対応できない場合、測量・設計等を行い、業者へ発注する。請負工事の場合には、工事完了確認検査を行ったうえで工事費支払いを行なう。		要望・苦情の受付、現地調査、施工方法の検討、測量設計、請負工事の入札発注・完了検査・工事費の支払い。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各地区区長から要望等があった場合は現地調査をし、軽微なものは職員・直営で対応し、それ以外の場合は、施工方法を内部で協議して業者に工事発注する。工事発注の場合には、完了後検査し、工事費を支払います。	要望・苦情件数	件	655.00	802.00	700.00	700.00	700.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			直営・工事件数	件	494.00	568.00	600.00
市道・水路			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			要望・苦情件数と直営・工事件数の対応率	%	75.40	70.80	85.71
道路・水路の補修をすることにより、安全に通行・排水を確保できる。			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

				02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	40,000	79,201	41,762			
		事業費計 (A)	千円	40,000	79,201	41,762			
		正規職員従事人数	人	7.00人	7.00人	7.00人			
03年度事業費 実績 (千円)				6,747		04年度事業費 予算 (千円)	6,762		
10 需用費				6,747		10 需用費		6,762	
14 工事請負費				72,454		14 工事請負費		35,000	
合 計					79,201	合 計		41,762	

事務事業名	道路補修事業	事務事業No.	50302000372	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
道路維持管理を行わなくては、事故誘発の要因となる。市が維持管理を開始した時から市道・水路補修・舗装率が向上する中、補修・舗装の耐久年数が概ね10年と考えられていることから、過去5年前と比べると市道補修・水路補修・舗装箇所も年々増加傾向にある。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
住民には、早急な対応が求められている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 道路等の維持補修を行うことによって安全な通行を確保し、事故誘発の要因にならない道路に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 道路管理者として、維持補修・修繕を行うことが義務であり、放置状態ならば事故誘発の要因となり道路管理者責任となる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 道路維持補修事業は、道路を通行する方々の安全確保し道路維持管理に努める。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事故誘発の要因となり、道路維持管理者責任となる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない	
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 毎年単価契約をしているため削減余地がない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全ての道路利用者に対して公平・公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	道路管理者としては、危険性・緊急性の高い箇所を最優先に補修し、通行車両・歩行者等の安全確保を図っている。																		
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ①																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>